

SKI



ASSOCIATION OF



TOKYO

No. 22

発行 (財)東京都スキー連盟

〒102 千代田区麴町4-5

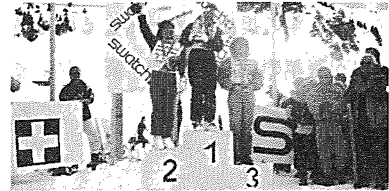
第6 麴町ビル 551号

TEL (262)2491(代)

発行日 昭和63年5月2日

編集 SAT編集委員会

印刷 エース工芸株式会社



## カルガリーの思い出

藤井博子

小学生の頃、将来の夢という題に「オリンピック選手」と書いた私。それから体操、トランポリン、スキーと選手を続けて15年。長い間の夢が癒えられ、今は一言では言い表わす事のできない感情でいっぱいです。

特に今回フリースタイルスキーは、デモンストレーションという事で、選抜基準が先、今シーズンのW-CUP総合上位となっていたので、2月7日斑尾大会にて出場が決定した時は大変嬉しく思いました。

しかし、斑尾大会にて右肩にケガをしてしまい、その事で不安感が残り自分の中で感じてはいけないと言いつけていたプレッシャーが大きく振りかかり、出発前は精神的に弱くなっていました。

そんな状態の私でしたが、カルガリーに着いてからチームドクターの中嶋先生が手を尽くして下さったり、各国の選手達の暖かい励ましによって、日一日と不安感を取り除かれていきました。また、トレーニングができないという不安もありましたが、幸か不幸かオリンピックパークに季節風シヌークが吹き続け、誰もが十分なトレーニングを出来ないまま大会を迎えることになったのです。大会当日は朝から落ち着く事ができずに会場へ出発。ウェイティングルームに着いてからも気持ちは高鳴るばかりでした。外は強い風が吹き荒れ、「中止になるのでは?なればいい。いや!開始してほしい。」と自分の中でも整理がつかない状態で大会パークに出て行きました。いざパークに出てみると、会場いっぱいのギャラリー。それを見た瞬間、あまりの多さ(45,000人)に上がりは一気になくなっていました。

「試合開始10分前。」とアナウンスが響き渡った時、

私を感じていたように、選手1人1人の胸の中には、「大会を成功させ、次回は正式種目へ。また、自分の胸に金メダルを…」と願っているかのように笑顔はありませんでした。私のスタートナンバーは7番。すでに何人かの選手が飛び終わっていたのでリラックスはしていましたが、1本目なんとか着地は決めたものの、踏み切り、フォームが悪く8位と無残な結果でした。その事もあり2本目を飛ぶ前は、より慎重になり集中力も増していたように思われます。しかし、2本目になると風は増々強くなり、スタートしてもキッカー前で中止してしまう選手が続々とでてきました。私もスタート前一瞬考えましたが、飛ぶと決めた以上少少の風は気にせず、少し風が弱くなるのを見てスタート。振り切った瞬間「良し」と感じ、その後はいつもよりしっかりとランディングバーンが見えてきました。着地が決まった時、1本目は失敗したものの、この2本目で思い通りのジャンプができた嬉しさから涙がこぼれたことを思い出します。

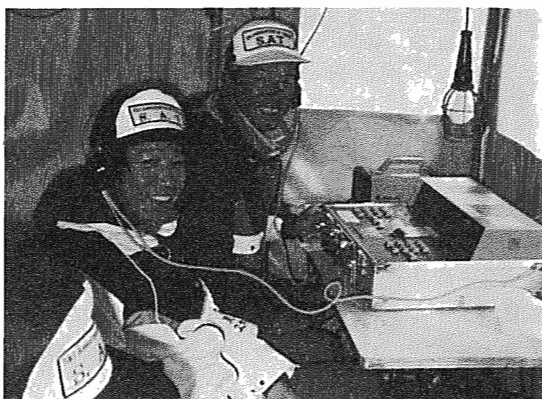
2本のトータルポイントで5位と、国旗掲揚には手が届きませんでしたが、オリンピックという大きなイベントに参加できたことにより、精神的にもその他いろいろな事において新しい何かを得たと思います。

シーズン終了後、何度か引退という事も考え、どうしたらいいのか、なかなか結論がでなかったのですが、最近、頭の整理がつき自分自身の限界までもう一度がんばってみたいと思っております。結果がどう出るかわかりませんが、努力していきたいと思っておりますので、これからも宜しく御指導の程お願い致します。

# 63年度の行事を終えて

教育部長 井上 衛

毎年11月末、その年度のシーズンが始まる前には一つの異様な緊張感が襲い、そして4月中旬に全行事が終了したときは言葉で表現できない安堵が湧いてきます。しかし全行事が終了したかと思うとすぐ来年度の行事計画と予算案の提出で気が休まるのは7、8月だけというのが毎年の繰り返しです。



63年度の行事を概略的に顧みると、S、A、Jの行事を含めて25行事、申込人員約5,600名、延人員になると約15,000名になると思います。これを大過なく終了することが出来たのは参加者の絶大なるご協力があったからであり、深く感謝をしております。しかし教育部としては参加者の要望と情勢から判断して最大公約数を求め行事を設定する関係上、参加者個人にとっては幾多の不満があることでしょうか是非ご理解をお願いします。否、ご理解をいただいていると言ったのが現状です。



紙面の都合上全行事について申し上げることはできませんが、終ってみると気楽に参加できる行事があればよかったな—と言うのが実感です。とくに印象に残ったのは全日本スキー技術選手権大会とデモストレーター選考会です。その理由は技術選手権大会で予選通過選手が男子9名、女子3名でその成績の筆頭は男子佐藤選手が2位、女子山崎選手が1位になったこと、



これまでも  
これからも  
スキージャーナルの  
スキー図書!



最新刊!

## 日本スキー指導教本

(財)全日本スキー連盟編著 B5変型/定価1,800円〒300  
「日本スキー教程」の改訂にともない、6年ぶり初の大改訂!

## スキーと安全

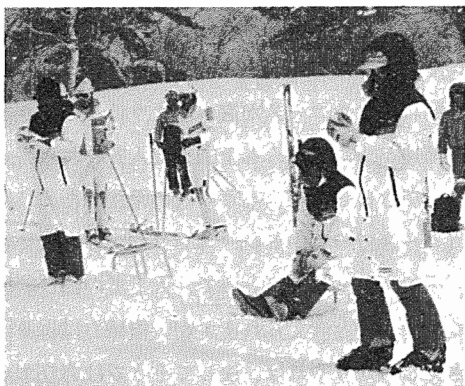
(財)全日本スキー連盟編著 B5判/定価1,800円〒300  
スキー傷害事故の実態の変化に対応、時代に即して全面改訂!

## 準指・指導員検定模擬問題集

(財)全日本スキー連盟監修 A5判/定価1,200円〒250  
全国の学科検定問題を徹底分析・検討し、対策のポイントを詳解!

〒160 東京都新宿区四谷3-11 ☎03(353)3051 振替東京0-33504 株式会社スキージャーナル

またデモストレーター選考会では男子4名、女子2名が認定されたからです。これは都連史上に輝かしい一頁を残すことでしょう。本人の努力はもちろんのこと、皆さんのご声援に対し深く感謝を申し上げます。



来年度の行事のことになりますが、社会人の登録が多い都連としてはどうしても日曜日を中心にした行事になると思いますが、なにかユニークな行事を計画できればと思っています。その一つとして3月中、下旬にカナダ国ウイスラーでの研修会を予定しておりますのでご期待下さい。



「写真はいずれも準指検定会(志賀会場)より」

## アルペン競技と人工雪スキー場

競技部長 小川和雄

今シーズン初めは、非常な雪不足に悩まされ、都連のアルペン競技会のうちの一部が中止になったり、会場変更になったりして、会員のみなさんに大変ご迷惑をおかけしました。

しかしながら、例年、積雪不足で開催が心配される1月第2週の「南関東ジュニア大会」は、人工雪の野辺山ハイランドスキー場で、無事開催できましたし、1月最終週の「都選手権、青年スラローム」も、同じく人工雪の車山高原に移転して開催できました。

このように、人工雪のスキー場が、アルペン競技会にとって「頼りがいのあるもの」になってきたのは、ここ1、2年のことです。

人工雪のスキー場が注目を浴びようになってきた理由としては――

- ①こここのところ毎年、シーズン初めの12月、1月に雪不足となっている。
- ②新鋭、高性能の人工降雪機が開発されてきている。
- ③従来、自然降雪に恵まれなかった中央道、東北道沿いの地域に、一年中遊ぶことのできる「通年型」レジャーランドを目指して、人工降雪のスキー場新設のラッシュが始まってきた。
- ④したがって、従来の温泉地や民宿中心のスキー場とは性格の異った、ホテル、ペンション中心の新しいタイプのレジャー基地を目指しており、若い人に受け入れられている――などが考えられています。


一方、従来のスキー場の一部でも、雪不足の解消を

### 国内スキー(ウィンター&サマー)

- 大学、社会人クラブの各種合宿プラン
- バス、列車、航空機、宿泊の手配
- ゲレンデ直行バスがさらに充実。  
方面/志賀金山、蔵王、野沢、斑尾、草津、白馬山麓など16ルートにワイドに運行。
- 海外スキー(ウィンター&サマー)
- 記念事業としてのツアーなど、各種イベントツアーは、プランニングからお世話します。
- ヨーロッパ、アラスカ、カナダ、ニュージーランドへは、信頼のブランド「LOOK SKI」でおでかけください。

★ Call  First   
SUN & SUN

スポーツ旅行のプロフェッショナル、  
あなたのパートナーです。

日本交通公社グループ  
 **サン&サン**

運輸大臣登録一般旅行業第568号  
〒101 東京都千代田区神田須田町1-16 万惣ビル6F

**03(255)4647(直)**

クライアント部 菊澤雄吉・佐藤春光・阿部達夫・藤谷俊二

SAJ旅行社協力会員 SAT賛助会員

その他、アウトドアスポーツ(テニス、ヨット、ウインドサーフィン、ダイビング、乗馬、登山、キャンプなど)のことなら、信頼と実績のある当社で、ぜひ!! カタログご希望の方は係員までお気軽にご連絡ください。

ねらって人工降雪機を設置するところも見られるようになりましたが、新設スキー場のように思いきった設備投資に踏みきれないせいか、ねらったようなシーズン初めの人工降雪が必ずしも成功していないようです。

さて、アルペン競技にとって、人工降雪スキー場の存在は、単に、シーズン初めの雪不足解消にとどまるものではありません。

アルペン競技では「優勝者は第1シードから出る」といわれるように、ゼッケン1—15の間にスタートできなければ、実質的に優勝を争うことは不可能と考えられています。

つまり「雪」の上で争うスポーツの性格上、ゼッケンが後では自分のねらうコースが掘れる来ることにより、どうしてもタイムが余計にかかってしまうことは当然です。

そのため、才能ある若い選手も、デビューから数年間は第1シードに入るための成績獲得に力を注がなければなりません。

ところが、人工雪のスキー場では、コース条件にもよりますが、比較的遅いスタート順でも、あまりハンデなしで滑ることができます。

都連のようなマンモス競技会にとって、これは、とてもありがたい話です。今後、都連のアルペン競技会は——

- ①雪不足に悩まされにくい。
- ②ゼッケン順の早い、遅いのハンデが付きにくい。
- ③コース整備で競技が中断することが少ない——。

人工降雪のスキー場に集中する傾向にあることを、ご承知おき願いたいと思います。

さて、競技会運営の面から人工雪スキー場を見てきたわけですが、ここで、選手強化の面からも考えてみ

ましょう。

カルガリのオリンピックを見ても分かる通り、欧米の主要アルペン競技コースは、殆んど人工雪となっていてしまっています。わが国も、数年以内にそのようになっていくことでしょう。

このため、都連の強化指定選手、ジュニアチームの合宿は、できるだけ人工雪コースで行うようにしています。

人工雪のコースでの合宿メリットの一つに、怪我の少なさがあると思います。打撲、切り傷はともかく、骨折などが少ないので、思いきった練習ができます。

しかも、人工雪コースにも、スラローム、リーゼンにそれぞれ適したコースが開発されつつあり、選手の目的に応じたコースが選べるようになってきました。

都連ジュニアからも全国大会入賞をねらえる選手が育ってきましたが、もう一段の飛躍のためには、人工雪コースでの集中トレーニングが必要と考えられます。

一般スキーヤーにとって、人工雪の固い斜面は楽しくないものと考えられますが、機械力による「手入れ」さえしっかりやれば、決してそうではありません。

私は、本年3月に米国アイダホ州サンパレススキー場へ参りましたが、全山が人工雪コースにもかかわらず、固くしまった、しかもスキーエッジのよくきく、すばらしいコンディションでした。

一般スキーヤーも、十分エンジョイしていました。スキー場側のメンテナンス努力とスキーヤーの慣れによって、固いバーンも「天国」となります。

いささかアルペン競技から脱線しましたが、一般スキーヤーのレベル向上がアルペン競技層を押し上げるわけですし、人工雪の固いバーンがさらに広まるためにも、皆さんのご理解を得たいと思います。

# 360°のメニューです。車山高原

雪質・コース・施設・景観・360°をひとつでも  
とびきりハイグレードなスキーリゾート車山高原SKY PARK  
12月初めから4月中旬までコンディションはついに最高  
車山ならではの360°多彩な魅力をいつでも堪能できます  
さあ、白銀にシュプールを思いきりフルコース



信州ビーナスライン  
車山高原  
SKY PARK

■お問い合わせは  
信州綜合開発観光株式会社  
長野県茅野市ビーナスライン車山高原  
☎0266(68)2626 〒391-03

# 今シーズンを振り返って

フリースタイルスキー部長 大規 讓

本年はオリンピックイヤーということで、ウィンタースポーツの話題が豊富なシーズンであったが、フリースタイルスキーにとっても実に画期的な年だった。

まず、多年の夢であったF I Sワールドカップをアジア地区に初めて招致し、世界のトップレベル選手の演技を直接観ることができたことである。(シリーズ直後のオリンピック公開演技に選ばれた54人の選手のうち51人が来日した。)

異常天候による雪不足でハラハラしたが、まさに神風のように選手団来日直前に大量降雪に恵まれ、コース整備等に苦労したが猪苗代リステルファンタジア会場(1月29日~31日)、そして斑尾会場(2月5日~8日)共一応の日程を消化し得た。

多くの協賛社、後援団体、それに地元の熱心な協力により他国に比して決して遜色のない運営が出来、素張りしい成果を挙げられたことをこの機会に心から御礼を申し上げたい。

そのホスピタリティについては17ヶ国から161名の選手、コーチ、そして11名のF I S役員がそれぞれ日本の良い思い出を持ち帰ってくれた事を確信している。テレビでご覧の方も多いと思うが、日本選手も当連盟登録会員の横山岳男選手8位、藤井博子選手3位(エアリアル)、中野銀次郎選手6位、上村祐代選手4位(コンバインド)、それに京都府の吉田光江選手11位(バレエ)と北海道の工藤千鶴子選手5位(エアリアル)と大いに日本の為に気を吐いてくれた。

カルガリーオリンピックの公開演技には、87年シーズンと斑尾会場までのF I S通算ポイントにより、日本から藤井博子選手(チームリステル)、工藤哲史選手(北海道)の2人が選抜されて参加、藤井選手5位

入賞、工藤選手12位と大健闘した。

オリンピック閉幕後、I O Cサマランチ会長が次の五輪大会では、フリースタイルスキーが正式種目への最短距離にあると記者発表されたが、我々関係者にとって「春遠からじ」という大きな励みとなった。

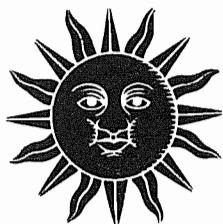
オリンピックへの切符を手にするためということもあったが、5人の選手が史上初めてのワールドカップ全戦(10戦)に参加したことは、当人たちは勿論、日本の選手たちにとっても大きな収穫であったと思う。

その後、東京都選手権大会そして第8回全日本選手権大会とW. C U P時より遥かに好条件のコースで予定通り開催したが、特徴としてかつてない程多くの新人の参加があり、将来に期待を抱かせてくれた。

3月末からはソビエトスキー連盟よりの招待により、8人の選手が初めての共産圏の国際大会に参加し、貴重な体験をして帰って来た。(参加8ヶ国)本連盟関係ではエアリアル男子で、3回転3ひねりの高い難度技で横山岳男選手(チームリステル)が他国選手を抑えて優勝したのは特筆に値することであった。

ようやく日本でもフリースタイルスキーの認知度も高まり、その普及も除々に底着しつつあると思うが、国際レベルでの選手育成と強化という点に関しては実に淋しい限りである。

他国(カナダ、フランス等)の一貫した育成強化体制に加えて、最近のソビエトの急速なレベルアップはジュニア層の拡充に基因しているようである。バレエ種目での女子12才~16才のレベルは、まさに群をぬくものだという日本チームコーチの報告に素直に耳を傾け、日本でもその育成強化に本腰を入れて取り組まねばならぬ時期が来たようである。



東京都スキー連盟公認スキー場

Shiga Sun Valley

志賀高原サンバレースキー場

法坂スキーリフト株式会社 ☎0269-34-2255

# 研修会(ニセコとルスツ)に参加して

サボースキークラブ 関 清一

まず開口一番「あー滑った滑った」が実感である。ニセコアンヌプリの山容に展開する斜面は雄大であるし、雪質、量ともに最高。それに各コースにかかるリフト、ゴンドラはスピーディーで、ほとんど待つことがない。一般スキーヤーは各斜面に散ってしまうからコースは空いている、言うなれば理想のスキー場といえるだろう。私自身二十数回の研修会出席歴をもつが、これまでにない素晴らしい研修会々場であった。

一月三十日、オ一日目の午前中は脚ならしの滑降で、午後から研修テーマの ステッピングとスキッピングの実習にはいり、終了後はフリー滑降で終わった。夜はホテルサービスの歓迎花火大会を見物、湖畔の私達の部屋の窓近くに咲く大輪の花は、雪の夜空に映えてなかなかロマンチックであった。三十一日のオ二日目は、研修テーマの総まとめを実習したあと、研習生と一般参加者の全員で、ニセコひらふ～東山～アンヌプリへとツアーが実践された。リフト、ゴンドラをフルに使って登っては滑降、登っては滑降とニセコの各コースを横に移しながら、ステッピング…スキッピングを活用しながらの実践的滑降である。各コースともロングで大回転ムードで滑りまくるのだから、終点のアンヌプリに到着したときは、全員「タンノウしました」といった顔つきであった。私などは途中から脚はガクガク、心臓はドキドキといった恥かしい有様であったが、それでも「こんなに滑った」という満足感を徐々に味わうことが出来た。思うに、これは教育部長はじめ役員諸侯が、折角北海道まで来たのだから滑りを楽しませてやろう……という配慮と親心による

ものではないかと推察している。たとえば千歳空港から洞爺湖温泉までのバスの二時間半を有効に使って、理論研修に当てるなどは、それを意味していると思う。夜、市川先輩の発案で親睦会が全員で行われた。会費はオボシメシ、お酒は出る、コンパニオンはハベルで、我がクラブの若手や愚息などはもう喜んじやって二次会はコンパニオンと雲隠れ、という始末……。親爺の私一人は部屋でフテ寝……。二月一日のオ三日目はルスツスキー場である。午前中の滑走は自主練習でとのお達しである。月曜日のせいかスキーヤーはバラバラ、都連の者が独占している感じである。空回転しているリフトやゴンドラなど東京近県のスキー場では考えられない光景であろう。午後、昼食を好物のイクラ丼で済まし帰京の途につく。左にニセコの山を、右に洞爺湖、羊蹄山を望みつつ札幌に向う。札幌では一足早い雪祭りと市内見物、雪祭り見物は今回の研修会の最後に花を添えた感じで、それは儲ものであった。千歳空港から機上の人となり、楽しい思出を抱きつつ我が屋の敷居をまたいだが、思えばこのようなスタイルの研修会は北海道なればこそであって、東京近県のスキー場…つまり砂糖の山に蟻が群がっているようなスキー場では出来ないことであろう。そこに都連の苦心があると思うが、いくつかある研修会のうち、せめて一つぐらいは北海道会場をもち続けて載きたいと思う。私は今回で二度目であるが、まだ参加されたことがない方には特に参加をお奨めしたい。終りになりますが運営の任に当たった役員の方々、講師の方、そして一諸に滑ってくれた仲間の方々に厚くお礼を申し上げます。

都連の皆様の  
ホームゲレンデ



スイスダボス姉妹都市

東京都スキー連盟公認第1号スキー場

信州 菅平高原スキー場

今シーズンのご利用ありがとうございました。  
来シーズンもよろしく願い申し上げます。

菅平高原観光協会

〒386-22 長野県小県郡真田町菅平 ☎(02687)4-2003(代)

# 準指のポール練習について

杉崎 寿三男

今年度の準指検定は、教程も変り、受験者に戸惑を与えながらも終える事ができた。又都連としては「制限滑降」が他の種目と同様一本採点となり、従来の二本滑れて、仮に一本目で失敗又は標準タイムをオーバーした場合でも、その者に限り二本目のチャンスが与えられていた方法が無くなった。ポールは実際にやってみると何が起らないとも限らず、例えばポールにスキーが当って外れたり、多勢が滑った溝からタイミングを悪くしてはみ出したりすることがよくある。これは滑走を制限されるが故に起る現象であって、これを克服することが醍醐味とも言われている。克服は他の種目と同様、数多くの練習を積み重ねるより方法はなさそうだ。ところがその練習の場は今の日本のゲレンデには、ポールを張って手軽にトレーニングする場所が見当らない。あるとすればお金を入れている「ナスター……」とか言うものがあるぐらいで残念に思う。私は今年の養成講習会のポール練習会場で、受講者を目前に見、又話を聞くなかで、今迄はポールと無縁でしたという人が多いのに驚いた。東京のスキーヤーがポールと親しむチャンスはあまりにも少ない、けれど検定種目でもあり、先に述べた通り厳しさも加えられ

ているので、準指を目指すにはポール練習は決して避けては通れない。厳しい練習条件の中から私が行っている方法の一つを参考的に記してみる。それはポールを5～6本持ち、ゲレンデの邪魔にならない隅に等間隔（ストレート）に立て、ゲレンデ全体をスラロームのバーンに想定する事。次にそのバーンをスラロームのイメージで滑り、そのポールを必ず通過する事を繰り返す。一方ではスタートの練習もでき、リズムを取る感覚も体得できるのではないだろうか。

一人で気楽にそして誰にも迷惑を掛けずに出来る方法だと思う。

来期受験する人、又この種目を不得意とする人にはこのような方法もしたり、あるいはお金を入れている方法もあり、又クラブの仲間達と共にコース作りから、セット後の片付け等汗をかいての中味の濃い練習等、種々あると思うが是非ともポールにもっともっと親しんでもらいたい。

スキーの滑走中でのスピードの楽しさ、そのスピードをコントロールする技術の原点はポール練習にあるとも言えないだろうか。

## 昭和63年度都連指導員合格者

| 氏名   | クラブ名 | 氏名   | クラブ名    | 氏名   | クラブ名   | 氏名    | クラブ名     |
|------|------|------|---------|------|--------|-------|----------|
| 鈴木芳江 | 杉並区  | 片桐 洋 | アドベンチャー | 込山和則 | アルス    | 永原秀明  | 青山       |
| 青木利伸 | 総評   | 小茂田保 | 日本航空    | 鹿俣 聡 | スカブラ   | 堂前貞雄  | スノーファミリー |
| 中川伸生 | 世田谷区 | 木村峰俊 | 東京スキー研  | 渋井尚紀 | 東海大学高輪 | 佐藤紀元  | ピラージュ    |
| 小野寺誠 | 三鷹市  | 水島正明 | 雪だるま    | 鎌田正広 | 東京ケルン  | 山賀典雄  | 八王子      |
| 鈴木宏昌 | ヴェスタ | 武田浩二 | 児童スキー研  | 黒沢淳一 | 通産省    | 大宮司泰子 | ラッセル     |

### 時代の推力。 ATOMIC SKI

品名: ARC TEAM 645 SL 品番: SRSI 02 輸入業者希望小売価格 ¥105,000 ●材質/芯材: 木製 ラミネート: 合成樹脂 滑走面: 合成樹脂 (P-TEX, 4000GR) 溝無  
●構造/ハイビロニック・⑧×4AHMS●カラー/③⑨⑩ バイオレット×フラッシュピンク●サイズ/180cm-200cm (5cmきざみ)、203、205、207cm ●オーストリア製

品名: ARC TEAM 635 RS 品番: SRSI 03 輸入業者希望小売価格 ¥105,000 ●材質/芯材: 木製 ラミネート: 合成樹脂 滑走面: 合成樹脂 (P-TEX, 4000GR)  
●構造/コンパウンドサンドイッチ・⑧×2AHMS●カラー/③⑨⑩ フラッシュピンク×フラッシュイエロー●サイズ/180cm-200cm (5cmきざみ)、203、205、207、210cm ●オーストリア製

**アシックス** ●商品についてのお問い合わせは、当社消費者相談までどうぞ。  
〒650 神戸市中央区港島中町7丁目1番1 ①(078)303-2233(専用)・②(078)303-3333(大代) 〒130 東京都墨田区錦糸4丁目10番11号 ③(03)624-1314(専用)・④(03)624-2221(大代)

| 氏名    | クラブ名    | 氏名   | クラブ名   | 氏名    | クラブ名   | 氏名   | クラブ名     |
|-------|---------|------|--------|-------|--------|------|----------|
| 野口君代  | 調布市     | 浜野 浩 | スラローム  | 藤野洋二  | 世田谷区   | 小山孝明 | 〃        |
| 瀧口えい子 | エコー     | 小池弘幸 | 白鯨     | 長沢恒巳  | スカダイ   | 岡倉健一 | ウィンターバース |
| 中 千鶴  | シール     | 柳 勝成 | エスタウト  | 西山光夫  | 都庁     | 浦本正夫 | 小田急      |
| 鈴木英雄  | 立正中高    | 明石真幸 | 渋谷区役所  | 安田恒夫  | 〃      | 小池 隆 | 港区       |
| 津田 弘  | 千代田区    | 杉本雅彦 | ブリリアント | 小椋茂雄  | 〃      | 森田哲男 | 北区       |
| 岡崎絹子  | 練馬区     | 柴田雅弘 | ジャスク   | 高城浩勝  | 八王子    | 山田祐一 | 足立区      |
| 若林恵子  | フリークス   | 上村幸男 | 水道局    | 遠藤 弘  | 豊島区    | 大谷隆康 | チーム・ヤーカー |
| 梶原敦子  | 江東区     | 土屋正裕 | ラッセル   | 尾澤賢一  | 八王子    | 大浦 博 | シャモニー同人  |
| 酒井 誠  | モルゲンロート | 加藤 宏 | 若葉     | 清水貞夫  | 狛江市    |      |          |
| 堀部弘光  | 東久留米市   | 小澤時男 | フォレスト  | 小野寺淳一 | ソニー    |      |          |
| 高橋聡一  | 港区      | 伊藤康博 | トルベ    | 大谷茂徳  | 足立区    |      |          |
| 岡田 勉  | シュプール   | 菅谷勇志 | アスペン   | 岡田晃一  | 千代田区   |      |          |
| 阿部忠男  | ケルン     | 斉藤義昭 | 白銀     | 大神田頼景 | コロポックル |      |          |
| 山保卓臣  | 石楠花     | 鈴木 慶 | 内外     | 保江佳克  | 日立本社   |      |          |
| 梅木功紀  | 杉並区     | 大森通安 | ジョリー   | 小林弘史  | エイトマン  |      |          |
| 貝田郁子  | デモネージュ  | 藤田恵三 | 都庁     | 畑中 淳  | パラマウント |      |          |
| 町田早苗  | サンダーグ   | 伊藤元也 | サンダーグ  | 袴田秀昭  | グランパン  |      |          |
| 川北貴美  | アスペン    | 池上正一 | ライネ    | 千葉和夫  | ライフ    |      |          |
| 村田愛子  | 港区      | 飯島雅彦 | 調布市    | 川淵 誠  | 渋谷区    |      |          |



## 準指検定会合格者

| 氏名   | クラブ名  | 氏名    | クラブ名 | 氏名    | クラブ名  | 氏名    | クラブ名  |
|------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|
| 栗山和弘 | アマチュア | 高橋由美  | 千代田区 | 宮沢由毅  | 港区    | 佐々木明男 | スカブラ  |
| 根塚正三 | 〃     | 永澤 滋  | 世田谷区 | 波田野寿子 | 〃     | 関 明矩  | ジーゲル  |
| 関 孝嗣 | スキー研  | 菅原利恵  | 〃    | 内田政男  | 板橋区   | 米山富士雄 | 〃     |
| 酒谷 理 | 〃     | 高橋京子  | 〃    | 石下幸二  | 〃     | 玉本博子  | シルバー  |
| 江沢圭小 | 〃     | 中村美穂  | 〃    | 潮田則夫  | 〃     | 岩瀬 尚  | 〃     |
| 高木隆士 | 〃     | 佐藤 健  | 〃    | 早坂俊則  | 〃     | 森 一弘  | ハイランド |
| 横井 幹 | 日立本社  | 大久保章  | アルペン | 杉山 彰  | 〃     | 増田卓郎  | チロル   |
| 新堀 実 | ラッセル  | 青山寿男  | 〃    | 阿部啓一  | 〃     | 遠藤正明  | スラローム |
| 横田幹久 | 東京ガス  | 鳥山俊和  | 杉並区  | 谷 岳明  | 〃     | 笠間雄二  | 〃     |
| 鴨田広和 | 〃     | 安藤 周  | 〃    | 中山裕章  | 豊島区   | 野川観清  | 農水省   |
| 松藤洋治 | 山と高原  | 加賀屋光雄 | 〃    | 本橋真美子 | 〃     | 山野井徹  | サンダーグ |
| 石原一男 | 〃     | 片倉 武  | 都庁   | 堀内雅之  | 燕     | 近衛伸賢  | 〃     |
| 平実智雄 | 八王子   | 永井良文  | 〃    | 田村光三  | レデアンス | 沼 康弘  | 渋谷区   |
| 水野義徳 | 〃     | 白戸一正  | 港区   | 福島 卓  | 立川市   | 田崎友三  | 〃     |
| 相馬宇民 | 〃     | 山田仁司  | 〃    | 井ノ口泰啓 | クリスタル | 小林央樹  | 江東区   |
| 高橋伸次 | 〃     | 高橋みよ子 | 〃    | 井原邦博  | ナチュラル | 杉本岳夫  | 〃     |
| 山崎 剛 | 〃     | 市川 武  | 〃    | 柳沢正道  | エコー   | 井口美季  | 防衛庁   |



| 氏名    | クラブ名     | 氏名    | クラブ名     | 氏名     | クラブ名   | 氏名    | クラブ名     |
|-------|----------|-------|----------|--------|--------|-------|----------|
| 加賀与一  | 防衛庁      | 布施祥和  | ブルー      | 林 浩至   | アルンダー  | 細井正仁  | チャレンジャー  |
| 有賀勇仁  | 〃        | 西村修次  | フロイデ・シー  | 堀田雅己   | 〃      | 小川圭介  | 〃        |
| 伊藤 博  | 〃        | 山田裕子  | ベル       | 宮井英昭   | 早大同好会  | 石川 竜也 | アスペン     |
| 西岡二三次 | 武蔵野市     | 成田 進  | 風雪       | 石井弘行   | 大田区役所  | 立石壮三  | 〃        |
| 須崎登己雄 | 朝日新聞     | 青山俊治  | タンネット    | 安藤忠明   | 〃      | 菊地 拓  | 〃        |
| 平原康寿  | 〃        | 棚沢伸泰  | 〃        | 戸川はるな  | エイトマン  | 石渡久子  | 〃        |
| 植田江津子 | GMC      | 小泉憲之  | 〃        | 呉 京子   | 青山     | 梅井正夫  | アドベンチャー  |
| 山田敏幸  | モダン      | 馬場良彦  | 山友       | 三五宏幸   | 青梅市    | 古賀久国  | ノルディカ    |
| 宿野部勇  | 〃        | 小山晶子  | 〃        | 若海雅彦   | 日野市    | 中西広志  | スノースチーラー |
| 石井淳氏  | 〃        | 今井崇雄  | 〃        | 荒川正弘   | 内外     | 小田島広明 | 雪陵会      |
| 木村芳行  | 総評       | 佐藤 剛  | 〃        | 木村宏正   | 〃      | 塩野能久  | 〃        |
| 高野和征  | 〃        | 矢島正明  | 〃        | 松田永雄   | ローデル   | 坊野寿彦  | 青学イフ     |
| 青木 実  | アルス      | 廣中泰明  | 〃        | 関 憲一   | ブルーベル  | 小津雅弘  | 〃        |
| 金谷幹雄  | ワンダラー    | 宮下 訓  | ソニー      | 藤森及規   | アーバン   | 高野与志人 | 〃        |
| 山崎 毅  | 足立       | 桜井美砂子 | 〃        | 菱田 達   | シーフアアラ | 今野廣隆  | ナトゥーア・シー |
| 板垣 剛  | チロルシー    | 広沢浩二  | 〃        | 恩田和彦   | 〃      | 清水信行  | 〃        |
| 山崎英男  | 保谷市      | 小野勝久  | 〃        | 駒田祐一   | スカオイ   | 海老原正明 | シュア      |
| 木村 浩  | 若葉       | 石井敏広  | 日航       | 塩浦 学   | 中野     | 坂本 聡  | 〃        |
| 末武昌枝  | 〃        | 菅野 豊  | 〃        | 井上 恵   | 〃      | 石井里枝  | 〃        |
| 林 信喜  | 足立区      | 田中正己  | 〃        | 笹島俊一   | ビラージュ  | 鍋島朋子  | 〃        |
| 丸山敦仁  | ヴェスタ     | 斉藤祐子  | 白稜       | 桑原 勲   | 〃      | 池松直文  | 〃        |
| 山内淑子  | 〃        | 原田裕美  | 〃        | 牧野耕太郎  | アロー    | 金子恵子  | 〃        |
| 松坂徹憲  | 〃        | 伊藤真弓  | 〃        | 小池 均   | ジャクス   | 荒田 誠  | 武蔵村山     |
| 朝久野純一 | ファイブリングス | 高橋猛吏  | 新宿       | 生天目千加子 | 水道局    | 寺田洋二  | ジョリー     |
| 武井頼子  | 〃        | 友田 光  | SAA      | 花畑昌代   | 真果体育   | 関口博史  | 〃        |
| 廣田 一  | 〃        | 大橋朝夫  | 田無市      | 佐久間俊幸  | 〃      | 宮川由起夫 | スガ       |
| 福野寿史  | 〃        | 石井裕人  | スノーペッカー  | 岡本治秀   | 東海大高輪  | 宮田武志  | 〃        |
| 正田英夫  | 府中市      | 山田天平  | ドウマイベスト  | 不破 達   | ライフ    | 池田六三郎 | 〃        |
| 山野和夫  | 白馬       | 大平忠之  | ジャパンイーエム | 宮崎 武   | 多摩市    | 沢崎孝行  | 〃        |
| 柄澤 収  | 〃        | 加藤岳美  | 白鯨       | 藤木 浩   | 〃      | 柴田博文  | ステップイン   |
| 松本厚子  | ヌプリ      | 鶴沢宏昌  | ミナミ      | 大江政男   | リーゼン   | 横野泰之  | ミワサス     |
| 田中康民  | ピステ      | 吉永 智  | 国分寺市     | 羽生博美   | 〃      | 毛利容子  | 〃        |
| 青木 孝  | 練馬区      | 柳 一也  | エスプリ     | 菊地早知子  | 特別区    | 稲葉勝之  | 〃        |
| 上野秀往  | 〃        | 五十嵐良子 | ポールスター   | 山本祐子   | 〃      | 角田博之  | 中野区      |
| 織田 久  | 小平市      | 三嶋雅彦  | 〃        | 唐木節子   | T P S  | 夏井千明  | 〃        |
| 宮崎まみ  | 〃        | 村野一彦  | ネーゲル     | 福田耕一   | ショカール  | 上野英一  | アート      |
| 武藤彰紀  | 〃        | 斎藤 到  | 〃        | 五味哲哉   | 雪だるま   | 山本 昇  | デンバーライン  |
| 新井清一  | 〃        | 宮内重昭  | 児童       | 石川拓彦   | チロリアン  | 岡田研二  | レジャードロウ  |
| 小野泰成  | 〃        | 羽仁たくみ | 〃        | 益子祐二   | スカデイ   |       |          |
| 杉山良人  | 〃        | 土居 誠  | アルンダー    | 斉藤宏子   | 〃      |       |          |



## 引継がれる伝統

### TWSクラブ 佐山好男

下町のほんの僅かな、スキー愛好者がグループを作り始めたのが、昭和30年頃でした。

当時、母体であった北区スキー連盟から独立し、昭和38年都連に加盟承認され、東京ウェーデルンスキークラブの第一歩を踏み出すに至りました。

小さいながら活気に満ちあふれ、ファミリースキーをモットーに、現在でも引継がれ、家族ぐるみの楽しいスキーを満喫しております。

クラブ設立以来35年を迎え、永きに渡り、小人数とはいえ、現在、指導員5名、準指導員8名のスタッフとクラブ員とが協力し合っております。

永年費やされた指導員達も年令層が高くなり、近年、後に続く者の養成に力を入れ、早期に若返りを計りたいと願っております。

明るい材料の一つとして、若い人達の芽が順調に育ち、スタッフの期待する所多大であります。

年間の行事に於ては、指導員研修会の報告を兼ね、正月は、スタッフ中心の雪上ミーティング。1月中旬には、クラブ員全員による強化合宿、2月及び3月上旬には、一般公募による、スキースクールと検定、そして3月中旬には、シーズン最後を飾る、にぎやかな雪上運動会を兼ね、スキースクールと検定、時には、スキーツアーも計画し、雪上での幕を閉じます。

各行事共、毎夜アフタースキーを楽しむことも忘れず、親睦を計り、相互のスキー技術向上に役立てております。我々の体力不足、運動不足を少しでも解消しながら、より安全に楽しいスキー行事を心掛けてまいりたいと思いますので、御各位の御指導、御鞭撻を宜しくお願い致します。

### 日本エイトマンスキークラブ 大内 忠

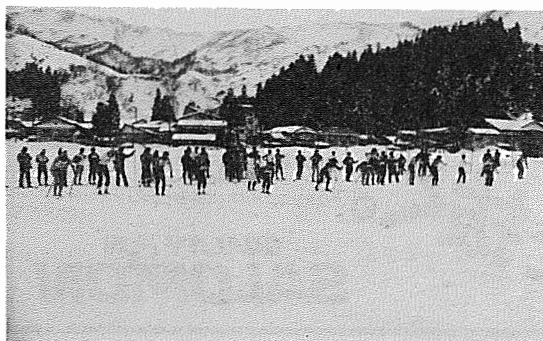
日本エイトマンスキークラブは昭和47年10月に産声を上げました。このエイトマンの名前は8名の発起人に由来していますが、とかくマンガの「エイトマン」とまちがえられ、ゲレンデでゼッケンを付けていると注目的になります。以来、昨年15周年の大きな節目を迎えましたが、「早く上手になって、楽しく滑ろう」をモットーに活動しております。

そこで当クラブの概要と活動内容を若干ご紹介させていただくと、会員数は88名、その内約半数の37名が指導員、準指導員の資格を持っています。さらに会長である井上衛は東京都スキー連盟の教育部長を長年努め、クラブ内に留まらず日本のスキーの普及、技術の向上に力をそそいでおります。また専門委員に任命されている会員も2名おり、当クラブ員の技術の向上が早いのもその辺に由来していると思われまふ。さて主な行事ですが年末年始（熊の湯）、2月の建国記念日を中心としたスキースクール（車山・級別テスト有り）、3月の春分の日を中心としたスキースクール（熊の湯・級別テスト有り）の3つのスキースクールを中心に、会員だけの強化合宿、クラブ独自の指導員研修会および準指導員受験者選考会等、どこで滑ってもその資格（級）にはずかしくないスキーヤーを育てております。またシーズンオフのトレーニング（6月～10月の毎週一回）も重要な行事です。

以上が主な当クラブの紹介ですが、スキーを中心とした新たな人の輪の創造をめざし、21世紀のスキーライフを切り開いていきたいと存じます。

“Pasport for wonderful SKI life” エイトマンからのメッセージです。あなたも一諸に滑りませんか？ あなたの新しいスキーライフを提案します。

## クラブ対抗戦スナップ（クロスカントリー）





## —— 編集後記 ——

昭和63年度は、前半の雪不足に大変苦労されたこと  
 と思います。それにしましても都連傘下の団体会  
 員のみなさんは、それぞれに大いなるご活躍のシー  
 ズンであったことと喜びに感じます。

“都連だより”もスタッフは若々しく元気な物ばかり  
 なのですが、組立ての内容に進展がみられず、ご執筆  
 下さいました皆さんには申し訳なく存じております。

都連の主管するあらゆる行事はもとより、カルガ  
 リーで光りました藤井さんの一層のご発展を祈りま  
 して編集後記とします。

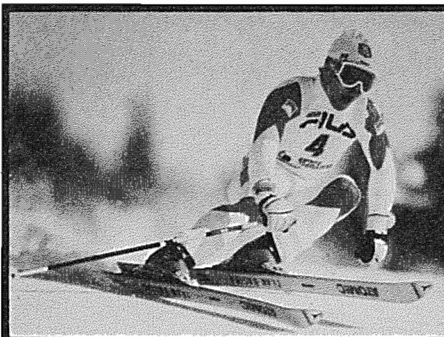
S A T編集委員会

委員長 内田 時雄

委員 市川 友之・亀谷 真・中村 暢男

中川 捷一・塚本 哲夫・山田 幸三

三瓶 一男・本間 毅一・村上万里子



夢を追う。  
 風を抜く。

ここにたどりつくまでに、  
 いつもの壁を超えてきた。  
 いく度となく、汗をほとばしらせた。  
 真正面から、じぶんと向きあって。  
 そして、この一瞬の完全燃焼に、スキーヤーは勝る。  
 QUALITY FUN SALOMON  
 チャレンジし続ける熱いハートを  
 サロモンはクオリティで応援します。

QUALITY FUN  
**SALOMON®**